

(様式 1)

令和 6 年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(三ヶ日東小) 学校運営協議会長

< 本年度の目標 >

- ・令和 6 年度も、学校側の要望を聞き学校サポーターや外部講師などを積極的に活用するなど、学校と地域を結ぶ役割を果たしていく。
- ・地域版人材バンクの活用をさらに充実させていく。

< 評価項目 1 > 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・学校教育目標である「夢をもち、都筑の丘に輝く子」の具現化のため、地域と共に地の教育を進めていきたいという学校の願いに沿った熟議を進めていくことができたと感じている。
- ・それぞれの委員がそれぞれの立場から活発に意見を出し合い、毎回充実した熟議をすることができた。

< 評価項目 2 > 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・本年度も本校の特色の一つである学校サポーター活動を充実させることができて良かった。
- ・学校サポーター活動を通して、たくさんの方々が教育活動に関わっていただけ良かった。また、その地域の方々との充実した関わりが、子供たちが自分たちの地域について、さらに知ろうという意識を高めることにつながったと感じられた。
- ・今後は低学年の子供たちへのサポートをさらに進め、教育活動の充実を支援していきたい。

< 評価項目 3 > 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・コミスク便りは協議会ごとに発行し、その時の協議会での熟議の様子を中心に、保護者や地域の方に分かりやすく情報を伝えることができ、協議会や教育活動への理解を広げることができた。
- ・コミスク便りで、サポーターの方の活動の様子をさらに紹介し、紙面でもサポーターの募集を行えば、さらに多くの方のサポートをいただけるようになると思う。

< 評価項目 4 > 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標 (取組の重点)

- ・学校側の要望を聞き学校サポーターや外部講師などを積極的に活用するなど、学校と地域を結ぶ役割を果たしていく。
- ・子供にとっても、外部講師の方を招いての授業は楽しみであると思われる。今後も多様なジャンルの方に教育活動に参加をしていただき、子供たちの興味関心を高めながら、体験活動の充実を図っていきたい。
- ・学校運営協議会で熟議した内容を P T A、地域に積極的に発信し、様々な人々との協働で子供たちを育てる環境を作っていきたい。